

令和3年度 大分県鉄鋼業最低賃金専門部会

- 1 日時 令和3年10月5日(火) 午前10時～
- 2 場所 大分第2ソフィアプラザビル 4階会議室
(大分市東春日町17番20号)
- 3 出席委員(敬称略)
公益代表: 荒井 公美、井田 雅貴、松隈 久昭
労働者代表: 上田 智仁、田中 勝裕、山本 悦子
使用者代表: 岩田 成寿、寶藏寺 和夫、松崎 弘芳
大分労働局: 中井 労働基準部長、幡手 賃金室長、柳井 賃金主任
- 4 議 題
(1) 金額審議について
(2) その他
- 5 議事要旨
(1) 金額審議について
ア 事務局より資料の説明を行ったのち、協議を開始した。
イ 協議方式について
公労使が別室に分かれ、労使が個別に公益と協議し、金額審議を進めていき、その後全委員が集まり意見集約する方法とした。
ウ 協議要旨
労側委員からは、鉄鋼業の現状はV字回復となっていること、業界の人材確保、流出防止、隣県との格差是正等が必要であること、対地賃率1.2%の水準を維持して鉄鋼業の優位性をキープする必要があることなどの説明を踏まえた上で金額提示があった。
使側委員からは、海外の現地工場との競争激化による構造的な経営環境が悪化していること、国内需要が減少していること、カーボンニュートラル対策等の資本投資が必要なことなどの説明を踏まえた上で金額提示があった。
エ 協議結果
意見の隔たりが大きく結論をまとめるまでには至らなかった。

(2) その他

次回の専門部会は、10月12日(火)午後1時30分から開催することとなった。